契約公表番号	10708-08-90008

建設工事・委託業務に係る入札結果・契約内容等

公表（入札等執行）課所　秋田県仙北地域振興局　　公表日　令和 8年 6月 8日

工事・委託場所	小先達川 仙北市 田沢湖生保内字下高野	工事・委託名称	護岸工設計業務委託 07-L604-Y2	工事・委託種別	土木関係建設コンサルタント業務	工事・委託概要（当初）	護岸工設計　L＝250m	着工時期 完成時期 （当初）	8. 6. 8 8. 9. 9	入札契約方式	条件付き 一般競争入札

整理番号	入札参加要件等の状況																	入札結果等									
	入札参加資格確認申請者				入札参加要件充足状況												入札参加資格の有無	入札（見積徴取）年月日			令和 8年 5月27日						
	商号・名称	主たる営業所所在地（市町村）	許可番号・登録番号	経営事項審査点数														予定価格	円	a	5,676,000						
																		うち消費税	円	b	516,000						
																		入札比較価格	円	a-b	5,160,000						
																		請負・委託決定額（落札価格×1.1）		円	4,860,900						
																		低入札調査基準価格（消費税抜き）		円	非該当						
																		失格判断基準	失格判断基準価格								
																			簡易調査①								
																			簡易調査②								
																		最低制限価格（消費税抜き）		円	4,419,000						
																		予定価格に占める法定福利費概算額		円							
																		入札参加	初入札（随契見積）			再入札				低入札価格調査対象者・備考	
																			入札・見積金額（消費税抜き）　円		摘要	入札金額（消費税抜き）円		摘要		
1	柴田工事調査株式会社	湯沢市	000220														○	○	4,419,000	落札						
2	株式会社タカシーバルプラン	秋田市	001247															○	4,420,000							
3	東邦技術株式会社	大仙市	000005															○	4,900,000							
4	株式会社石川技研コンサルタント	秋田市	000029															○	4,900,000							
5	株式会社さくら技研	秋田市	001298															○	4,900,000							
6	株式会社遠藤設計事務所	秋田市	002441															○	4,900,000							
7	興建エンジニアリング株式会社	秋田市	000221															○	4,950,000							
8	技苑コンサル株式会社	北秋田市	000124															○	5,000,000							
9	株式会社矢留測量設計	秋田市	001013															○	5,000,000							
10	ジオテックコンサルタンツ株式会社	秋田市	001555															○	5,000,000							
11	創和技術株式会社	秋田市	000022															○	5,100,000							
12	株式会社創研コンサルタント	秋田市	000023															○	5,100,000							
13	株式会社北陽技術コンサルタント	由利本荘市	000053															○	5,100,000							
14	奥山ボーリング株式会社	横手市	000096															○	5,100,000							
15	株式会社自然科学調査事務所	大仙市	000224															○	5,100,000							
16	株式会社ウヌマ地域総研	秋田市	000030															○	5,150,000							
17	株式会社共和技研	能代市	001060															○	5,150,000							
18	株式会社測地コンサルタント	秋田市	000123															○	5,160,000							

（注）　条件付き一般競争入札については、開札後に落札候補者のみ入札参加資格の確認を行う事後審査方式を採用しています。
「失格判断基準価格」で低入札調査を終了した場合は、「簡易調査①・簡易調査②」の記載を省略しています。